



創立25周年記念 祝賀パーティー

2023年（令和5年）5月8日

社会福祉法人 萌友会

理事長挨拶

社会福祉法人 萌友会 理事長 馬場隆幸 よりご挨拶

あいさつ

本当に困っている人たちのために

社会福祉法人萌友会 理事長 馬場隆幸

社会福祉法人萌友会 25 周年記念パーティーにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
当法人は平成 10 年 4 月に長崎県立希望が丘特別支援学校を卒業した 4 人の利用者と私とで自宅の 6 畳の部屋で前身の現川小規模作業所を始めたのがスタートです。初日は、お母さん方もお見えになり座布団を敷いて挨拶を交わしたのを昨日のことははっきりと覚えています。補助金もなく、全く先も見えない中、誰もが不安な状態でしたが、ハーブを育て、陶芸の粘土づくりをして素焼きの植木鉢を作ったり、タケノコを掘ったり、野イチゴを摘んで食べたり、栗拾いに出かけたり、この上なく楽しい毎日でもありました。

3 年目からは市の補助金を得て、その後、平成 13 年 11 月に新しく制度化された小規模通所授産施設に移行すべく社会福祉法人萌友会を設立しました。そもそもこの事業を始めるきっかけは、ここにご出席の皆様がよくご存じのとおり、私の重度の自閉症で知的障害をもつ娘の卒業後の行き先がないとの話を大学の教授にされた事です。当時本当に困っていましたので「どうにかしないと」との親の一心でコツコツコツと出来る事から進めていったわけです。日中の生活の場を作った後は夜間の支援ができるグループホームを平成 25 年 10 月に開設し今に至っています。本当に困った人のために何かをしようとした時に我々のような小資本の事業所では的を小さく絞るしかありません。ご期待に沿えず、多くの利用者が一度に新しく出来た別の作業所等に移って行かれたこともあります。役職員の方から事業運営に疑問を投げかけられたこともあります。大変苦しましましたが、何とか今日の 25 周年を迎える事ができたのは、現在在籍する利用者の方々や今日ご出席の皆様の温かい励ましがあったからにほかにありません、この場を借りて深く感謝申し上げます。

私の基本方針は「最大限に小さくすること」です。矛盾するようですが、言い換えれば、「出来るだけスリムな経営をしておいて本当に困った人の為になすべきことをする。」という事です。今、私どもの法人では第 2 のグループホームを現川駅から 3 5 0 m のところに建設しようと国庫補助金の申請をしたところ、今年度第 2 位の順位で朗報を待っているところで 6 月末頃、長崎市から中間報告があると聞いています。

さて、本日は 31 名の通所者と 25 名の職員、さらに理事・監事・評議員・第三者委員の方々のうち 57 名の方が出席していただいています。本当に言わば近い身内だけの会でございます。可能な限りお寛ぎいただきひと時を楽しくお過ごしいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、これからもなお一層、地域社会の福祉の為に役職員一同努めてまいりますので、これまで同様暖かく見守っていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

本日はまことにありがとうございました。



ご来賓挨拶

LAWYER

弁護士

お客様の最寄りオフィスに所属する弁護士が対応させていただきます。なお、所属オフィスに関わらず、ご依頼いただいた案件に最適な弁護士が担当させていただきます場合もございます。



代表弁護士

福田 浩久 *Hirohisa Fukuda*

得意分野

企業顧問（主に中小企業）

東京都練馬区出身

私立麻布高等学校卒業・東京大学法学部卒業

平成 10 年東京弁護士会に弁護士登録

平成 12 年長崎県弁護士会に登録換え

平成 13 年福田浩久法律事務所開設後、平成 26 年に現在の弁護士法人を設立

第二東京弁護士会所属

平成 20 年度長崎県弁護士会副会長

平成 21 年度長崎商工会議所青年部（YEG）会長

平成 25 年度長崎商工会議所 議員就任

平成 26 年度 YEG 長崎県連会長、日本 YEG 代表理事

ご来賓挨拶

理事 友永修一 様

有限会社 トムズ
代表取締役

私財を投げ売ってまでも事業を開始した当時のエピソードも交え、労いと今後の発展を期待されました。



Tomus
長崎でカーリースなら

[HOME](#) / [会社概要](#)

会社概要

社名	有限会社トムズ
代表取締役	友永 修一

永年勤続表彰式

勤続25年表彰 馬場隆幸 様

勤続15年表彰 竹山優一 様

勤続12年表彰 馬場美子 様

これまでのご功績を讃え
3名の方が表彰されました。

授与者は

第三者委員 矢ヶ部 健 様

有限会社 茶蔵 源氏園
専務取締役



無添加・国内産茶葉100%

有限会社 茶蔵 源氏園



受賞者代表 ご挨拶

勤続15年表彰

竹山優一 様より挨拶

「先輩や同僚の励ましや
助けがあって
これまで勤めてこれました。

これからも法人発展と
職員・利用者の幸せのため
頑張ります。」

15年間の苦勞が思い出され

感極まってしまいました。

場内も静まり・聞き入って
いました。



初めての西九州新幹線「かもめ」 出発進行！



式典は、嬉野「華翠苑」

かすいえん

豪華なお昼ご飯！美味しい！

温泉・カラオケも楽しめました！



社会福祉法人 萌友会
創立25周年記念祝賀パーティー



お疲れ様でした。 次回また 会いましょう ～ ～ ～！

ご来賓							
評議員		理事		第三者委員		一般	
福田 浩久 様		友永 修一 様		林田 良基 様		柿田真知子様	
柿田 信之 様		松竹 光則 様		矢ヶ部 健 様		高倉 町子様	
						ご来賓	8 名
						職 員	18 名
						利用者	29 名
						計 55 名が参加されました。	

編集後記

- ・新幹線”かもめ”に乗るため、現川駅からのJR組が33名、築町からバスで13名が長崎駅に集結。わずか25分、あっという間に嬉野到着。快適な新幹線でした。
- ・式典、表彰式も滞りなく速やかに終了し、いざパーティーへ。お昼ご飯にしては食べきれないほどのメニューに満足。「もっと飲みたかった」「おかわりしたかった」の声も。
- ・露天風呂や家族風呂もさすが「美肌の湯・嬉野」でした。
- ・カラオケも歌い足りなかったかな。
- ・アンケートも取りました。「また行きたい」との声も。
- ・宿泊組の5名も満足でしたか（笑）！
- ・実行委員お疲れ様。
反省点は、全ては次回にいかしましょ！

あいさつ

本当に困っている人たちのために

社会福祉法人萌友会 理事長 馬場隆幸

社会福祉法人萌友会 25 周年記念パーティーにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
当法人は平成 10 年 4 月に長崎県立希望が丘特別支援学校を卒業した 4 人の利用者と私とで自宅の 6 畳の部屋で前身の現川小規模作業所を始めたのがスタートです。初日は、お母さん方もお見えになり座布団を敷いて挨拶を交わしたのを昨日のここのようにはっきりと覚えています。補助金もなく、全く先も見えない中、誰もが不安な状態でしたが、ハーブを育て、陶芸の粘土づくりをして素焼きの植木鉢を作ったり、タケノコを掘ったり、野イチゴを摘んで食べたり、栗拾いに出かけたり、この上なく楽しい毎日でもありました。

3 年目からは市の補助金を得て、その後、平成 13 年 11 月に新しく制度化された小規模通所授産施設に移行すべく社会福祉法人萌友会を設立しました。そもそもこの事業を始めるきっかけは、ここにご出席の皆様がよくご存じのとおり、私の重度の自閉症で知的障害をもつ娘の卒業後の行き先がないとの話を大学の教授にされた事です。当時本当に困っていましたので「どうにかしないと」との親の一心でコツコツコツコツと出来る事から進めていったわけです。日中の生活の場を作った後は夜間の支援ができるグループホームを平成 25 年 10 月に開設し今に至っています。本当に困った人のために何かをしようとした時に我々のような小資本の事業所では的を小さく絞るしかありません。ご期待に沿えず、多くの利用者が一度に新しく出来た別の作業所等に移って行かれたこともあります。役職員の方から事業運営に疑問を投げかけられたこともあります。大変苦しましましたが、何とか今日の 25 周年を迎える事ができたのは、現在在籍する利用者の方々や今日ご出席の皆様の温かい励ましがあったからにほかにありません、この場を借りて深く感謝申し上げます。

私の基本方針は「最大限に小さくすること」です。矛盾するようですが、言い換えれば、「出来るだけスリムな経営をしておいて本当に困った人の為になすべきことをする。」という事です。今、私どもの法人では第 2 のグループホームを現川駅から 3 5 0 m のところに建設しようと国庫補助金の申請をしたところ、今年度第 2 位の順位で朗報を待っているところで 6 月末頃、長崎市から中間報告があると聞いています。

さて、本日は 31 名の通所者と 25 名の職員、さらに理事・監事・評議員・第三者委員の方々のうち 57 名の方が出席していただいています。本当に言わば近い身内だけの会でございます。可能な限りお寛ぎいただきひと時を楽しくお過ごしいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、これからもなお一層、地域社会の福祉の為に役職員一同努めてまいりますので、これまで同様暖かく見守っていただきますよう重ねてお願い申し上げます。
本日はまことにありがとうございました。